

第2回中之条町グローバル・フード・デザイン・コンペティション
～サステナブルなカリナリーツーリズムを目指して～
Global Food Design Competition in Nakanojo
～Aiming for a Sustainable Culinary Tourism～

応募者・参加者のためのガイドライン

1. 本ガイドラインの目的

本ガイドラインでは、「第2回中之条町グローバル・フード・デザイン・コンペティション～サステナブルなカリナリーツーリズムを目指して～（Global Food Design Competition in Nakanojo～Aiming for a Sustainable Culinary Tourism～）」（以下「コンペ」という）の手順について解説します。ここでの「申請者」とは、コンテストの登録を申請する人であり、「参加者」とは、申請者の中から選ばれた人です。

本コンペの「主催者」は、中之条町が推進する中之条町における農業の担い手づくり事業プロジェクトのプロジェクトチームです。このガイドラインは、コンテストの応募者/参加者を含む関係者の理解促進を目的としています。応募者と参加者は、このガイドラインの内容を理解し、内容に同意した上で参加しているとみなされます。

2. 本コンペの目的と概要

中之条は、群馬県の北西部に位置する人口 15,366 人の小さな町です。町には、数多くの豊かな源泉があり、山野部には美しい花が咲き一部はラムサール条約で保護されています。また、「世界で最も美しい村」連合会に加盟している NPO 法人「日本で最も美しい村」連合の「日本で最も美しい村」として、伊参（いさま）地区及び六合（くに）地区が加盟しています。さらに、農業が盛んで、生産者は地域の自然を活かした様々な高品質の農作物を生産しています。

そのような中、中之条では 2020 年に、農業振興の新しいアプローチの形として、「中之条から世界へ、世界から中之条へ」の視点で、中之条産農作物の活用による新しく創造的で魅力的な「食」を提案するグローバル・フード・デザイン・コンペティションを開催しました。

【2020 年開催の本コンペの目的と概要抜粋】

日本の群馬県北西部にある中之条は現在、その地域資源を利用して、より多くの消費者と観光客にとって魅力ある町となるために、地域経済を活性化されるための新しい農業ビジネスを実施するためアプローチを確立しようとしています。町の地域資源を活かした新しいアプローチ開発のためには、日本だけでなく世界中の外国人の新しい視点を取り入れ、魅力的で創造的な中之条ならではの「食」を開発提案する国内外に開かれた国際大会（コンペ）を開催することになりました。

そして今年、第2回中之条町グローバル・フード・デザイン・コンペティションを開催します。今回は、フランス発祥の「世界で最も美しい村」連合会に連なる2地域があることでグローバルな注目がこれまで以上に集まることを期待して、駐日外国政府観光局協議会（ANTOR-JAPAN）や駐日大使館等の協力も得て、地域の自然を活かした農作物と各国・地域の郷土料理の融合、各国・地域及び中之条住民の郷土料理・自慢料理、2020年大会受賞料理の紹介等により、中之条町の地域資源の魅力を国内外の方々に発信する大会とし、中之条と各国・地域の「食」を通じた持続的な交流に繋げていきたいと考えております。

コンペの目的は、中之条の地元の伝統的な農業の食材の魅力を見出し、新しい食文化の方法を発見・開発することです。例えば、干しイモ、米、リンゴ、花（食べられる花）、野菜、トウモロコシなどが対象産物として考えられています。他にも様々な魅力ある農産物が中之条にはあります。コンペの参加者は、中之条の地元の農産物を新しい視点で加工、調理、装飾し、魅力的な「食」として生み出すことが期待されています。

コンペの進め方はオンラインを活用します。Zoomなどの代表される無料で使いやすいオンラインコミュニケーションツールを利用し、参加者は地元の農業生産者と繋がります。一般的な競争型のコンペとは異なり、本コンペは「参加型/協働型」です。

参加者は、地元の農家を含む人々とコミュニケーションをとりながら、作品を企画し、作業中も地元の人々とコミュニケーションをとり、中之条のストーリーを大切にしながら進めることが奨励されています。参加者と地元の人々とのコミュニケーションと関係づくりも、このコンペの大きな目的です。長期的なビジョンとしては、このコンペを通じて、参加者は、地元の人たちと信頼関係を醸成し、「食」をテーマに新しいビジネスを始める関係まで発展させることを目指しています。

3. 対象となる応募者/参加者

◎国内外のシェフ・パティシエ・飲食施設等の調理人

（駐日大使シェフ、駐日大使館・外国政府観光局推薦の在日シェフ等）

◎中之条に所縁のある料理経験者（住民、勤務者等）

※2020年大会受賞者は招待参加。

専門的な方だけでなく、レストランでパートを続けている方やご家庭で日ごろから料理に工夫をしている方といった「準専門家」も参加できます。自分は専門でないという方も、中之条のような日本の地方の食材に興味がある方であれば、まずはご応募ください。

特に、地域の農家とコミュニケーションを図りながら、前向きに創造的に進められる方を歓迎いたします。

4. 実施部門

A) 一般部門：地元食材を活用した料理

B) SDGs部門：SDGsの17のゴールと169のターゲットに配慮した料理

*例：環境への負荷軽減が期待されるソイミートや動物系食材を使用しないヴィーガンに対応した料理や、フードロス削減を目指して食材を余すことなく使う料理等。

*中之条町で飲食提供している参加者は、応募作品を併設イベント「食のアートフェスティバル～世界の料理を中之条の食財で～（Global Food Design Festival～World cuisine using Nakanojo ingredients～）」において、「中之条ビエンナーレ」期間中の特別メニューとして提供ください。なお、特別メニューの提供に関する支援を実施予定ですので、奮ってご参加ください。

*「食のアートフェスティバル～世界の料理を中之条の食財で～」では、2020年大会受賞者による作品（料理）も提供計画中です。

5. フェーズ/期間

コンペ開催日程は、2021年7月下旬から10月上旬の予定で、次の4つのフェーズがあります。ただし、新型コロナウイルスの状況により、変更となる場合があります。

フェーズ1：申請フェーズ（7月下旬～9月1日）


フェーズ2：参加フェーズ（8月下旬～10月19日）

フェーズ3：評価フェーズ（10月20日～11月10日）

フェーズ4：フォローアップフェーズ（コンペ終了後）

6. 手順と活動

各フェーズで次のように実施する予定です。「申請者」「参加者」「主催者」の定義は、本ガイドラインの「1. 本ガイドラインの目的」に記載しています。

フェーズ	ステップ	主な内容
フェーズ1 申請フェーズ *7/下旬～9/1	1-1 申請受付	申請者は下記からWEB申請で行います。 https://forms.gle/1VwYsdtkVTcMeAeN6  第2回中之条町グローバルフードデザインコンペ
	1-2 インタビュー	書類選考後、申請者は、プロフィール、応募の目的、職業などについて、オンライン（Zoom等）で主催者と面談します。
	1-3 参加者の選定	主催者は、インタビューと申請書を参考に、「参加者」を選定します。なお、結果はすべての申請者に通知します。
フェーズ2 参加フェーズ *8月下旬～10/19 (10/20：投稿締切)	2-1 地元食材の選択	参加者は、地元の農業生産者とオンライン（Zoom等）面談で、食材を選びます。その結果、必要となる地元素材のリストが作成され、内容について同意します。
	2-2 地元食材の発送	主催者は、参加者住所に食材（地元食材）一式を発送します。なお、一部の国や地域で発送が困難な場合は、同様の商品を参加者が立替調達（すぐに返金します）します。また、地元食材以外の食材及び調味料等は参加者負担となります。
	2-3 作品の開発	参加者は、自宅や厨房等で、自分の調理具を使って食材を加工・調理して新しい「食（作品）」を開発します。
フェーズ3 評価フェーズ *10/20～11/10	3-1 プレゼンの準備 *10月20日まで	参加者は、食の開発過程・加工・調理の写真/動画を、スマートフォンやタブレット等のカメラ機能で撮影し、撮影データを主催者に送信します。
	3-2 プレゼン *10月27日	参加者は、写真/動画を使用し、オンライン（Zoom等）で、作品のプレゼンテーションを行います。
	3-3 受賞式 *11月10日	主催者は、作品の質、魅力、ストーリー、味、レシピ、ビジネスの可能性などに基づいて、コンペファイナリストとして受賞者を選定します。

フェーズ4 フォローアップ *コンペ終了後	4-1 事業化の計画	受賞者は、作品及びアイデアの実現をするための会議に招待され、主催者とともに商品化/事業化のための計画づくりをします。
	4-2 事業化へのサポート	主催者は、4-1で合意された計画に基づいて、商品化/実現化のためのサポートをします。具体的には商品の試験開発、試験販売のための場所や施設の提供や地域関係者との関係づくり等です。

7. 参加者と主催者の役割

参加者と主催者はそれぞれ以下のような役割があります。

参加者

- 主催者とオンライン（Zoom等）でのインタビューに参加する。
- 主催者から郵送された食材のパッケージを受け取り、保管する。
- 郵送での送付が不可能な場合のみ、主催者に代わって同様の材料を購入する。
（購入後、領収書をもとに全額返金されます。）
- 食材について、オンライン（Zoom等）で農業生産者（農家）と話をする。（必要な場合のみ）
- 食材を使って、新しい「食」をデザイン（加工/調理/装飾を含む）する。
- 調理の過程を記録（写真/ショートムービー）する。
- 主催者に記録データを送信する。
- 記録されたデータを使用してプレゼンテーションの準備をする。
- 主催者にオンライン（Zoom等）または中之条現地でプレゼンテーションをする。
- 優秀作品に選ばれた場合、授与式（現地またはオンライン）に参加する。
- 参加者側のインターネット接続料は参加者負担になります。
- 上記活動においては、自国および日本の法令を遵守する。
（特にフードデザインに関する他者保有の特許や権利には注意する）

注：主催者は、参加者が本コンペに参加したこと引き起こした損害、損失、問題の責任を負いません。

主催者(プロジェクト)

- 応募者に電子メールやオンライン（Zoom等）で連絡し、調整する。
- オンライン通信手段（Zoom/電子メール/Facebook等）を用意する。
- 申請者/参加者とのインタビュー/ミーティングを調整し開催する。
- 参加者と農業生産者/関係者間のオンラインでのコミュニケーションを促進する。
- 中之条町の食材を購入・調達する。
- 食材の一式を参加者指定の住所に郵送する。
- 参加者が主催者に代わって同様の材料を購入した場合、参加者にお金を返金する。
- 中之条町の情報を参加者に提供し、作品のデザイン化をサポートする。
- 参加者の写真/動画のデータを受け取り、保管する。（著作権は参加者にあります）
- プレゼンテーションの日程や方法を調整して、関係者に出席を促す。
- プレゼンされた作品を評価し、優秀者(ファイナリスト)を選出する。
- ファイナリストに賞及び賞品を授与する。
- ファイナリストの作品・アイデアを実現するための会議を調整開催する。
- ファイナリストの作品・アイデアの実現のサポートをする。（試験開発・試験販売）
- ファイナリストの食品の特許とライセンスを尊重し、ビジネスでの活用法について、関係者に助言または利害を調整整理する。

注:参加者がコンペで出品した作品の知的財産権は、主催者と参加者の共有になります。

8. 関連情報

I) メインテーマと優秀作品(ファイナリスト)の評価基準 (6つの基準)

一般部門のメインテーマは「記念日」です。誰もがパートナーにとって非常に重要な何かを持っていて、一年の特定の時間に祝います。結婚記念日、誕生日などのように。この特別な瞬間には、どのような「食べ物」を提供しますか?記念日の食べ物をデザインしてください。

また、SDGs 部門では、一般部門のメインテーマを、SDGs の 17 のゴールと 169 のターゲットに配慮した料理（例：環境への負荷軽減が期待されるソイミートや動物系食材を使用しないヴィーガンに対応した料理や、フードロス削減を目指して食材を余すことなく使う料理等。）としてデザインして下さい。

6つの評価基準

☑ 関連性Relevance: : 中之条町の資源・ストーリーとかかわっているか

☑ 有効性Effectiveness : 商品としての魅力度/ビジネスの可能性

☑ 効率性Efficiency : 簡単で低コストで生産できるか、品質は保てるか

☑ 影響度Impacts : 他のセクターへの影響があるか、教育や文化など

☑ 持続性Sustainability : 既存の資源活用、環境に優しい

☑ 協働性Coherence : 町の多くの人たち(関係者)と協力できるか

上記のような多面的な視点からの評価をいたします。総合得点だけでなく、ある一つの視点(評価基準)が極めて優れているものについても評価いたします。出品者は与えられた材料から、いくつでも作品を作り、出品することが可能です。

II) 中之条町の情報(観光情報)

以下の関連URLなどをご参考になさってください。

<https://nakanojo-kanko.jp/>

<https://www.town.nakanojo.gunma.jp/>

<https://www.kirara.ne.jp/nakanojo/>

III) 賞と賞品について

プラチナ、ゴールド、シルバー・特別賞

・・・シェフの名前を冠した商品開発・試験販売



9. その他

本コンペ及び内容に関する問い合わせは以下にご連絡ください。

主 催：中之条町「農&食」戦略会議

運 営：中之条グローバルフードデザインコンペティション実施委員会

事務局：一般社団の拠点推進機構（JICCE）

後 援：群馬県・独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）* 予定

一般社団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）

協 力：駐日外国政府観光局協議会（ANTOR-JAPAN）* 予定

お問合せ先：事務局＝一般社団法人食の拠点推進機構（JICCE）

nakanojo@jicce.or.jp

(公式 facebook)

